

まちづくりイノベーション — アートでまちの魅力を高めよう —

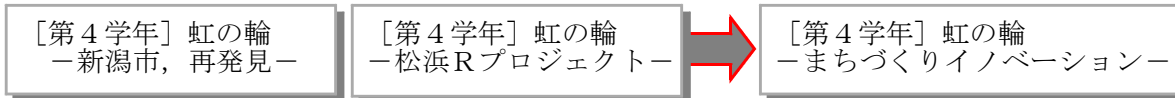
4年虹の輪 1・2月〈25時間〉
附属新潟小学校 教諭 梅津 祐介

1 本単元で目指す姿
学びの道筋を描き、思いを実現させていく子ども
 具体的には、社会の中では人と人とかかわり合っているという**相互関係に着目する「見方・考え方」**(探究的な「見方・考え方」)を働かせ、根拠となるものを明らかにしながら、より具体的・現実的に考える力等を発揮しながら、「まちの魅力を高めたい」という思いを学びに変え、主体的に活動する姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
総合	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちごと美術館に関する知識 ○ まちごと美術館の活動内容を発信する技能 ○ まちの魅力に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 疑問や問いを基にして、課題を設定する力 ○ 根拠となるものを明らかにしながら、より具体的・現実的に考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら社会にかかわり、参画しようとする態度
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美術作品の形や色、組合せ、色の明るさの効果に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美術作品の造形的なよさや面白さを見いだす力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美術作品のよさや面白さをとらえようとする態度
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の特徴や使い方に関する知識・技能 ○ 情報活用に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章の構成を考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思いや考えを伝え合おうとする態度

3 関連する学習



4 単元の計画

次	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	時
一次 思いを強める	<ul style="list-style-type: none"> ○ アートを用いたまちづくりの事例を調べる。☆国語① ☆ツール活用能力 ・まちごと美術館という活動を見つけたよ。 ○ 作品に感動したり、まちごと美術館の活動の趣旨に共感したりする。☆総合② ☆図工②③ ・作品の力に心をぐっと掴まれた。 ・肥田野さんはすごい人だ。 ○ 自分たちの思いを確かにする。☆総合②③ ☆図工①② ・たくさんの人に作品を見てほしい。 ・まちごと美術館を知ってほしい。 ・今回は、「魅力をつくる」活動だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ まちの魅力を高めるために、アートが役割を果たすことができるか問う。 ※ 前単元「松浜Rプロジェクト」で、子どもはアートに着目している。 ◆ まちごと美術館代表の肥田野さんの話を聞く場を設定する。 ※ 作品（絵画や書）が展示されている場所も見学する。 ◆ 本単元の目的について話し合う場を設定する。 ※ これまでの単元との比較を行う。 ※ 学習課題を設定する。 	6時間
アートでまちの魅力をもっと高めたい。自分たちに何ができるか。(学習課題)			

二次 思いをかたちにする

- アートで魅力が高まったまちの未来の姿をイメージする。 ☆総合②③
 - ・観光客が目にする所に展示された。
 - ・作品がプリントされたTシャツが東京五輪で発売された。
 - ・有名人が作品を買ってくれた。
- 実現させたい活動を決め、学習計画を考える。 ☆総合②③ ☆国語②③
 - ・作品を借りて、自分たちでまちごと美術館をやってみよう。
 - ・チラシやポスターを作って、まちごと美術館をアピールしよう。
- まちづくりに貢献しているという実感をもつ。 ☆総合③ ☆国語①③
 - ・中央区役所で作品を展示した。通行する人が作品を褒めてくれた。
 - ・作品の解説を一生懸命説明したよ。
- まちの魅力の意義をとらえ直す必要性を感じる。 ☆総合①②
 - ・「まちの自慢」や「まちの個性」という言葉だけでは、説明できない。
 - ・「まちの自慢」とは違う何かだ。
- まちごと美術館の活動を総括する。 ☆ツール活用能力 ☆協働性

○ 作家さんやまちゆく人など、いろいろな人との出会いがあったところかな。 ☆総合①②

- まちの魅力の新たな意味を見いだす。

○ 「人と人がつながるまち」、これがまちの魅力になるんだね。 ☆総合①②

- これまでの単元の関連性を図る。

○ まち歩きや松浜Rも、まちの外の人とにまちのよさを知ってもらおうとしていたよね。 ☆総合①②

- 2回目のまちごと美術館の活動への意欲を高める。

○ まち歩きの野内さんはカフェをつくって、そこで交流が生まれるようにした。私たちの活動でも、そんなつながりが生まれたらいいな。 ☆総合②③

- まちごと美術館の新たな活動を創造する。

○ 野内さんのカフェで作品を展示したり、作品を使ったスタンプラリーなんかができたらいい。実現させるためにみんなで話し合おう。 ☆総合①②③

- 活動計画を立てる。 ☆総合②③
 - ・つながりが生まれる活動にしたい。

- まちの魅力のとらえを確かにする。

三次 思いを表す

○ 人と人とのつながりが生まれることが、まちの魅力が高まるということ。そして、子どもとお年寄り、障がいのある人とない人のように、いろいろな人とのつながりが生まれることで、まちの魅力はより高まっていくと思う。 ☆総合①②③

- まちの魅力の視点を、学習を振り返る。

12時間

- ◆ フューチャーセッションで、まちの未来の姿を考えさせる。
 - ※ テーマ「X年後、まちごと美術館が発展して、新潟のまちが有名になりました。どのように発展したのでしょうか」

- ◆ フューチャーセッションの結果を基に今後の学習の進め方について問う。
 - ※ 子どもが交渉役になり、作品を複数枚借りる。
 - ※ 作品を展示する場所を考えさせる。
 - ※ 作家さんの制作現場を見学する。
- ◆ 学習計画に基づいて、活動を実行させる。
 - ※ 活動場所が同じ場合は複数のグループと協働させる。

- ◆ まちごと美術館によって「まちの個性」「まちの自慢」等の魅力が高まったと説明できるか問う。 【働き掛け1-①】

- ※ まちに魅力の子どものとらえ（まちの自慢、まちの個性等）を提示する。

- ◆ まちごと美術館でまちの魅力が高まったと思ったのは、どんなところか問う。

【働き掛け1-②】

- ※ タブレット端末に記録した活動の様子を見ながら、話し合いをさせる。

- ◆ 肥田野さんから話を聞く場を設定する。 【働き掛け2】

- ※ 「出された意見に共通するのは、人と人とのつながりですね」と語りかけてもらう。

- ◆ これまでの単元で対象としたまちづくりでは、「人と人とのつながり」が生まれていたのか問う。 【働き掛け3-①】

【働き掛け3-①】

- ◆ これまでの単元で対象としたまちづくりで生まれた「人と人とのつながり」とはどのようなものだったか問う。 【働き掛け3-②】

【働き掛け3-②】

- ◆ 実践したまちごと美術館の活動で、「人と人とのつながり」が生まれていたのか問う。 【働き掛け4】

【働き掛け4】

- ◆ 2回目のまちごと美術館の活動について、グループで話し合いをさせる。

- ◆ 新たに計画した活動を実行させる。

7時間

- ◆ 「まちの魅力と私」というテーマで作文を書く場を設定する。

